

養力だより

2026年1月号



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様にとって新年が平穏な良い年でありますよう願っています。

清華苑養力センターでは昨年末に新型コロナウイルスのクラスターに見舞われました。

令和2年に養力センターに赴任して6年目になりますが、これで3回目のクラスターです。1回目は令和4年1月、酸素吸入が必要な重傷者が何人もおられ、市内の病院はコロナの患者で満床でしたが、明石市保健所の采配で何とか乗り切ることができました。

2回目は令和6年1月、若者を中心に感染が広がった時期であり、当苑でも入所者のみならず若い職員も感染していました。前回に比べると軽症者が多く、入院が必要となったのは転倒による骨折治療のためでした。3回目の今回は、さらに軽症者が多く、入院が必要となったのは誤嚥性肺炎を合併したためでした。ほぼ2年に1回クラスターが発生し、次第に軽症化していると言えそうですが、中には食思不振が長引く人もおられました。提供方法を工夫しながら誤嚥しないよう介助することで回復され、嬉しく思っています。

1月4日には面会制限を解除することができました。ご家族との面会は、入所者にとって食事以上に大きな力となります。これからも皆様のご協力で入所者を元気づけて頂きますよう、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

施設長 井本しおん





編集後記

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。本年も「養力だより」をお届けいたします。ご家族の皆様には、施設内での様子をお伝えできればと思つております。2026年も引き続きよろしくお願ひいたします。